


安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	トクソー トレークリーナー
会社名	株式会社トクヤマデンタル
住所	〒314-0255 茨城県神栖市砂山 26
担当部署	品質保証 Gr
緊急連絡先	TEL: 0479-46-4708 FAX: 0479-46-3568
推奨用途	歯科用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	可燃性固体：分類できない 自然発火性固体：区分に該当しない 酸化性固体：区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）：区分に該当しない 急性毒性（経皮）：分類できない 急性毒性（吸入：ガス）：区分に該当しない 急性毒性（吸入：蒸気）：区分に該当しない 急性毒性（吸入：粉じん）：分類できない 急性毒性（吸入：ミスト）：区分に該当しない 皮膚腐食性／刺激性：区分 2 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分 2 呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない 生殖細胞変異原性：分類できない 発がん性：分類できない 生殖毒性：分類できない 特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分 3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性（反復暴露）：分類できない 誤えん有害性：分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）：分類できない 水生環境有害性 長期（慢性）：分類できない オゾン層への有害性：分類できない
GHSのラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告

危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ
注意書き	換気の良い場所で使用すること。 適切な保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 粉塵を吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場 合：医師の診察／手当てを受けること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の 診察／手当てを受けること。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 容器を密閉して、換気の良い場所で、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。 未使用の本品を少量廃棄する場合は、大量の水と共に廃棄すること。 未使用の本品を大量廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄 物処理業者に廃棄を委託すること。 使用後の本品は、本品以外にアルジネート、寒天、石膏、唾液、血液、場合によっ ては感染性のウイルスなどが含有しているので、医療廃棄物処理業者に廃棄（焼却 処分）を委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学名	濃度範囲	CAS 番号
トリポリリン酸ナトリウム	40 - 50%	7758-29-4
(含有：オキシビスホスホン酸四ナトリウム)	(5 - 15%)	7722-88-5
炭酸水素ナトリウム	30 - 40%	144-55-8
第一リン酸アンモニウム	5 - 15%	7722-76-1
1,2,3-ベンゾトリアゾール	1 - 10%	95-14-7

4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ保温して安静を保つ。 直ぐには何も症状が認められなくても、必ず医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯をすること。
目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> 水でよく口の中をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び 遅発性症状	<ul style="list-style-type: none"> データなし。
最も重要な兆候及び症状	<ul style="list-style-type: none"> 炭酸水素ナトリウムについては、ヒトの経口摂取後、ガスの過剰発生により急

	性的に胃破裂を起こし、入院に至ったケースが複数報告されている。
応急措置をする者の保護	・データなし。
医師に対する特別注意事項	・データなし。

5. 火災時の措置

消火剤	・本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	・なし。
特有の危険有害性	・火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	・危険でなければ火災区域から容器を移動する。 ・容器が熱に晒されているときは、移さない。 ・安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	・適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置	・微粉が生じて目に入る恐れがあるので、防塵マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用して作業する。 ・漏出物に触れない。
環境に対する注意事項	・環境中に放出してはならない。
回収、中和 封じ込め及び浄化方法・機材	・危険でなければ漏れを止める。 ・飛散ないように掃き集めて、密閉容器に入れる。
二次災害の防止策	・すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 ・排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 ・粉塵が飛散しないようにする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	・適切な保護具を着用する。 ・使用時は、本体ボトルの記載通りに、保護具を使用する。 ・換気の良い区域のみで使用する。
局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	・取扱い後はよく手を洗うこと。 ・粉塵の吸入を避けること。 ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 ・眼に入れないこと。 ・飲み込みを避けること。 ・皮膚との接触を避けること。
接触回避	・高温、多湿、直射日光を避ける。
保管	
技術的対策 混触危険物質	・水濡れを避ける。湿気の少ない屋内倉庫に保管する。 ・酸との接触あるいは50℃以上の加熱により炭酸ガスを放出するので、注意すること。
保管条件	・容器を密閉して換気の良い場所で、高温、多湿、直射日光を避け、室温で保管する。 ・患者や子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	日本産業衛生学会 (2023年版) : 記載なし 米国産業衛生専門家会議(ACGIH、2023年版) : オキシビスホスホン酸四ナトリウム TLV-TWA 5 mg/m ³ (無水物)
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
目の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態・色	白色の粉末	pH	データなし。
臭い	データなし。	動粘性率	データなし。
融点/凝固点	データなし。	溶解度	水に可溶。 有機溶剤にほとんど不溶
沸点/初留点	データなし。	n-オクタール/水分分配係数	データなし。
可燃性	データなし。	蒸気圧	データなし。
爆発下限界及び上限界	データなし。	密度又は相対密度	データなし。
引火点	データなし。	相対ガス密度	データなし。
自然発火点	データなし。	粒子特性	データなし。
分解温度	>50°C (炭酸水素ナトリウム)	その他データ	データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性	・推奨する保管及び取扱において、安定と考えられる。
危険有害反応可能性	・酸との接触あるいは50°C以上の加熱により分解(炭酸ガスの放出)する。
避けるべき条件	・高温、多湿、直射日光を避ける。
混触危険物	・酸
危険有害な分解生成物	・燃焼により、二酸化炭素、窒素酸化物などを生成する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口：トリポリリン酸ナトリウムに関してラットのLD ₅₀ 値が >1,978 mg/kg、炭酸水素ナトリウムに関してラットのLD ₅₀ 値が >4,000 mg/kg、1,2,3-ベンゾトリアゾールに関してラットのLD ₅₀ 値が 560 mg/kg との記載がある。混合物中の濃度がトリポリリン酸ナトリウム 50%、炭酸水素ナトリウム 40%、1,2,3-ベンゾトリアゾール 4%の場合、急性毒性推定値(ATE)は >2,215 mg/kg と算出されたので、区分に該当しない。 経皮：炭酸水素ナトリウムに関してラットのLD ₅₀ 値が >2,000 mg/kg、1,2,3-ベンゾトリアゾールに関してラットのLD ₅₀ 値が >10,000 mg/kg。 吸入(粉塵)：炭酸水素ナトリウムに関してラットのLD ₅₀ 値が >4.74 mg/L(4.5時間)、1,2,3-ベンゾトリアゾールに関してラットのLD ₅₀ 値が 1.9 mg/L/3h の報告がある。
皮膚腐食性/刺激性	危険有害性が区分 2 であるトリポリリン酸ナトリウムを 10%以上含有するので、混合物の危険有害性は区分 2 とした。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	危険有害性が区分 2 であるトリポリリン酸ナトリウム及び1,2,3-ベンゾトリアゾールを 10%以上含有するので、混合物の危険有害性は区分 2 とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：データなし。 皮膚感作性：データなし。
生殖細胞変異原性	データなし。
発がん性	データなし。
生殖毒性	データなし。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	危険有害性が区分 3(気道刺激性)であるトリポリリン酸ナトリウムを 20%以上含有するので、混合物の危険有害性は区分 3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし。
吸引性呼吸器有害性	データなし。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期 (急性) :	データなし。
水生環境有害性 長期 (慢性) :	データなし。
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

1 3. 廃棄上の注意

<ul style="list-style-type: none"> ・未使用の本品を少量廃棄する場合は、大量の水と共に廃棄すること。即ち、20g の本品 (付属の計量スプーンですりきり 1 杯分) に対して 1L 以上の水で溶解させた上で廃棄すること。なお、本品は燐を含有することから、燐の規制のある地域では少量でも希釈廃棄はできないので、そのような規制のある地域では産業廃棄物処理業者に廃棄 (活性汚泥等の処理) を委託すること。20g の本品を 1L の水に溶解させた状態で、約 3g の燐を含有する。 ・未使用の本品を大量廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。 ・使用後の本品は、本品以外にアルジネート、寒天、石膏、唾液、血液、場合によっては感染性のウイルスなどが含有しているので、医療廃棄物処理業者に廃棄 (焼却処分) を委託すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
国連輸送名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
国際規制	海上規制情報 該当しない。 航空規制情報 該当しない。
国内規制	陸上規制情報 該当しない。 海上規制情報 該当しない。 航空規制情報 該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
---------	-------------------------

	(法第 57 条、施行令第 18 条・別表第 9) ・オキシビスホスホン酸四ナトリウム
化学物質排出把握管理促進法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
水質汚濁防止法	排水基準：アンモニウム化合物：100 mg/L、 リン含有量の許容限度：16(日間平均 8)mg/L リン含有量についての排水基準は、リンが湖沼プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれのある湖沼として環境庁長官が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれのある海域として環境庁長官が定める海域及びこれらに流入する公共水域に排出される排水水に限って適用する。

16. その他の情報

参考文献

- [1] GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253:2019）日本規格協会（2019年5月25日発行）
- [2] GHS 分類結果データベース（独）製品評価技術基盤機構ホームページ
- [3] GHS 文書 改訂第4版、事業者向けGHS分類ガイダンス第3版(平成25年7月) 経済産業省製造産業局化学物質管理課ホームページ
- [4] GHS に基づく化学品の分類方法(JIS Z 7252:2019)日本規格協会(2019年5月25日発行)

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これらのデータや評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

当該物の成分の含有量が当社にとっての営業上の秘密に該当する場合、もしくは、製造上の調整幅を必要とする成分の含有量については、重量パーセントではなく 10%刻みの濃度範囲で記載しています。